実務に関する証明書

氏名、生年月日以外は、証明者が記入してください。

氏名

生年月日　　　　　年　　　　月　　　　日

上記の者は、下記のとおり良好な成績で勤務したことを証明する。

記

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 勤務した当時の学校の名称 | 職名（○で囲む） | 担当教科等 | 勤務した期　　間（週時間数※） | 左のうち実際に勤務しなかった期間（理由を記入する） | 勤務形態等（該当する項目を全て○で囲む） | ※ 非常勤（勤務形態等の下段に〇が付かない）の場合、週の授業時間数を記入してください。 |
| （領域　　　　）（学部　　　　） | 教諭助教諭非常勤講師その他 |  | 　　　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで　※週　　　　　時間 | 　　　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで　理由　 | ・単独で授業を行う職である。・常勤又は常勤相当の職である。 |
| （領域　　　　）（学部　　　　） | 教諭助教諭非常勤講師その他 |  | 　　　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで　※週　　　　　時間 | 　　　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで　理由　 | ・単独で授業を行う職である。・常勤又は常勤相当の職である。 |
| （領域　　　　）（学部　　　　） | 教諭助教諭非常勤講師その他 |  | 　　　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで　※週　　　　　時間 | 　　　　年　　月　　日から　　　　年　　月　　日まで　理由　 | ・単独で授業を行う職である。・常勤又は常勤相当の職である。 |
| （上記期間中に懲戒処分等を受けている場合、概要を記入してください。） |

・特別支援学校においては、「領域」欄に教授した教育領域（視覚・聴覚・知的・肢体・病弱の別）を、また「学部」欄に

勤務した学部（幼・小・中・高の別）を記入してください。

・この証明書は、埼玉県教育委員会が教育職員免許状授与のための教育職員検定に使用するものです。学校教育法上の職としての勤務を証明してください。

・現任校について証明する場合、「勤務した期間」の終期は最大で証明日と同日までを記入できます。

・その他、記入例を御参照の上、御作成ください。

・小学校（小学部）、幼稚園（幼稚部）勤務分については、「担当教科等」は記入不要です。

　　　　　　年　　　　月　　　　日

証明者　所属・職・氏名

作成担当者　職・氏名

連絡先電話番号　　　　－　　　　－

実務に関する証明書

厳封するかは証明者の判断にお任せします。

氏名、生年月日以外は、証明者が記入してください。

*記入例*

氏名　　*××　××*

生年月日　*昭和××*　年　*××*　月　*××*　日

上記の者は、下記のとおり良好な成績で勤務したことを証明する。

現在勤務中の場合も必ず終期を

御記入ください。その場合、終期

は証明日まで証明可能です。

この証明書は、発令事項でなく、勤務した実績を証明するものです。

記入例：

平成〇〇年○月○日

戒告

中高一貫校、義務教育学校、中等教育学校など、複数の校種にわたって勤務した場合は、校種ごとに分けて記入してください。

「週○時間」という表記で勤務実態を表せない場合は、適当な表記を行ってください。

例）「上記期間中、○日勤務、１日○時間」

　「単独で授業を行う職」とは、相当免許状を有し、単独で授業が行える職を指します。

（チームティーチングの補助しかできない職は、○を付けないでください。）

　「常勤又は常勤相当の職」は、本採用かにかかわらず、勤務時間により〇をつけてください。「常勤相当」とは、原則として週５日勤務で１日の勤務時間が常勤職員と同じ職を指します。（該当しない場合、非常勤として取り扱います。週時間数を記入してください）

証明者が学校長の場合、自校における勤務のみ証明できます。

証明者が教育委員会の場合、所管する複数の学校での勤務を１枚の証明書で証明できます。

記

勤務しなかった期間とは

・休職期間の全期間

・引き続き９０日を超える以下のものが

ある場合は、その全期間

ア　休暇（産前・産後休暇は除く。）

イ　育児休業

ウ　欠勤

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 勤務した当時の学校の名称 | 職名（○で囲む） | 担当教科等 | 勤務した期　　間（週時間数※） | 左のうち実際に勤務しなかった期間（理由を記入する） | 勤務形態等（該当する項目を全て○で囲む） | ※ 非常勤（勤務形態等の下段に〇が付かない）の場合、週の授業時間数を記入してください。 |
| 　*埼玉市立**こばとん**特別支援学校*（領域　*肢体*　）（学部　*小*） | 教諭助教諭非常勤講師その他 | 小学校、幼稚園の場合は記入不要です。 | 　*平成３１*年　　*４*月*１*日から　*令和　２*年　　*３*月*３０*日まで　 週　　　　　時間 | 　年　　　月　　日から　　　　　年　　　月　　日まで　理由　 | ・単独で授業を行う職である。・常勤又は常勤相当の職である。 |
| 　*埼玉市立**さいたま**中学高等学校*（領域　　　　）（学部　*中*） | 教諭助教諭非常勤講師その他 | *国語* | 　*令和　２*年　　*４*月*１*日から　*令和　４*年　　*３*月*３１*日まで　※ 週　　　時間 | 　*令和　２*年　　*５*月*１５*日から　*令和３*年　　*３*月*３１*日まで　理由　*育児休業* | ・単独で授業を行う職である。・常勤又は常勤相当の職である。 |
| 　*埼玉市立**さいたま**中学高等学校*（領域　　　　）（学部　*高*） | 教諭助教諭非常勤講師その他 | *国語* | 　*令和　４*年　　*４月　１日*から　*令和　５*年　　*３*月*１*日まで　※ 週　*１５*　時間 | 　　　　年　　　月　　日から　　　　年　　　月　　日まで　理由　 | ・単独で授業を行う職である。・常勤又は常勤相当の職である。 |
| （上記期間中に懲戒処分等を受けている場合、概要を記入してください。） |

・特別支援学校においては、「領域」欄に教授した教育領域（視覚・聴覚・知的・肢体・病弱の別）を、また「学部」欄に

証明者は以下のとおりとしてください。

・都道府県立学校の場合：学校長又は都道府県教育委員会

・市町村立学校の場合：学校長又は市町村教育委員会　※

・私立学校の場合：学校長又は法人の理事長

・国立大学附属学校の場合：学校長又は大学の学長

※市町村費により臨時職員（教員）として勤務した期間については、学校長ではなく、市町村教育委員会に証明を依頼してください。ただし、任用の都合上、臨時職員から同じ学校に引き続き県費の臨時的任用教員として勤務した期間は、学校長による証明でも可とします。

勤務した学部（幼・小・中・高の別）を記入してください。

・小学校（小学部）、幼稚園（幼稚部）勤務分については、「担当教科等」は記入不要です。

証明書作成日としてください。

　　*令和５*　年　　*３*　月　　*１*　日

令和３年４月１日以降

押印は不要です。

証明者　所属・職・氏名　*埼玉市教育委員会教育長　××　××*

証明内容に疑義がある場合に御連絡します。記載内容についてわかる方を御記入ください。

作成担当者　職・氏名　***〇〇課管理主事　××　××***